

「キリスト者の新しい生活」

(ローマ12・1～2)

「この世と調子を合わせてはいけません」

前回のメッセージで、最後に語ったことばがあります。それは、2節は1節とつながっているということ。2節は独立していません。この世と調子を合わせてはいけません。この冒頭には「そして」という接続詞が入っているからです。したがって、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。この世と調子を合わせてはいけません。と読んでいただきたいです。

そして2節は、大きく二つの内容によって構成されています。一つは「この世と調子を合わせてはいけません」という消極的勧め、もう一つは「むむしろ、心を新たにすること、自分を変えていただきたい。そうすれば、神のみこころは何か、すなわち、何が良いこと、神に喜ばれ、完全であるのかを見分けるようになります。」という積極的勧めです。そのように読んでいただいたら、分かりますか？と思います。

内容を見てまいります。この世と調子を合わせてはいけません。パウロが勧めています。この世とは何なのですか。その意味は、「来たるべき世」に対する「この世」です。主イエ

スは語られました。「人の子に逆らうことばを口にする者でも赦されます。しかし、聖霊に逆らうことを言う者は、この世でも次に来る世でも赦されません」と(マタイ12・32)。ちなみにこの世と調子を合わせてはいけませんのこの世は、「時代」とも訳されることばが使われています。ですから、「この時代と調子を合わせてはいけません」とも訳されます。ではこの世、すなわちこの時代とは、どのような時代なのでしょう。それは、人が創造主なる神から離れている時代です。そして、聖書は語っています。「この時代が終わり、来たるべき時代が来る」と。黙示録21章1節の「また私は、新しい天と新しい地を見た。以前の天と以前の地は過ぎ去り、もはや海もない。」がそうです。その来たるべき世、すなわち来たるべき時代のことは、今の世に生きる私たちに与っては幻のようなもので、だれもはつきり分かりません。ただ、聖書が語っている啓示によって、かろうじて知っているだけです。この世は、すなわちこの時代は罪が支配する時代なので、主イエス・キリストを信じた後も、生涯にわたって罪を退け、あるいは罪と戦うことが求められます。

二、「心を新たにすること」

自分を変えていただきたい

2節の続きを見て行きます。ここから、積極的な勧めになります。むむ

ろ、心を新たにすることで、自分を変えていただきたい。とあります。ここで語られている「心」は、ふつうに使われている「心」、すなわち「心が痛む」とか、「心が楽しむ」とか言う意味の「心」ではありません。異なることばが充てられています。言い換えるなら「意思」です。自分で考えて「こうしよう」と決める意思です。「心を新たにすること」は、私共の領域です。ちなみにこの箇所は、訳によって異なります。新改訳旧版は、「心の一新によって自分を変えなさい」でした。この訳も捨てられないですね。自分自身で、自分の意思を一新させることによって、自分という人間が変わって行くのも確かだからです。いずれにしても、神は私共の「心」を見ておられます。すなわち、私共の「意思」を見ておられます。その意思が変えられて行きます。コリント人への手紙第2章18節です。「私たちはみな、覆いを取り除かれた顔に、鏡のように主の栄光を映しつつ、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられていきます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。」と。御霊なる主の働きによって、キリストを信じる者は主イエス・キリストと同じかたちに、姿を変えられていくのです。

三、「みこころを弁える生活」

2節3文目を見てまいります。この

すれば、神のみこころは何か、すなわち、何が良いこと、神に喜ばれ、完全であるのかを見分けるようになります。とあります。こちらにも、むむしろ、心を新たにすることで、自分を変えていただきたい。と続く、積極的な勧めの続きであることを受け止めてください。

この世とは、どのような時代なのでしょう。それは、人が創造主なる神から離れている時代です。そして、聖書は語っています。「この時代が終わり、来たるべき時代が来る」と。黙示録21章1節の「また私は、新しい天と新しい地を見た。以前の天と以前の地は過ぎ去り、もはや海もない。」がそうです。その来たるべき世、すなわち来たるべき時代のことは、今の世に生きる私たちに与っては幻のようなもので、だれもはつきり分かりません。ただ、聖書が語っている啓示によって、かろうじて知っているだけです。この世は、すなわちこの時代は罪が支配する時代なので、主イエス・キリストを信じた後も、生涯にわたって罪を退け、あるいは罪と戦うことが求められます。

私共が神のみこころを行っているなら、必ず神からの喜びと平安と確信がやってくる。とあります。